

「音読作戦」スタート！ 音読指導のポイントは

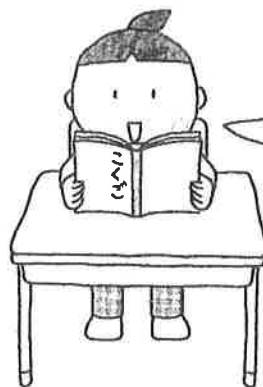
いよいよ、学習発表会の練習が始まりました。教室からは、子供たちの大きな声が聞こえます。今こそ、子供たちに、「大きな声で、はきはきと、すらすらと読むスキル」を身に付けさせるチャンスです。現段階で、声の大きさや表現力には個人差があるかもしれませんが、その子供の頑張りを十分認めながら、一人一人が自信をもって、音読、暗唱、発表ができるように、応援していきたいですね。

さて、9月から、火曜日8時15分からの朝の活動に、「音読作戦」に取り組んでみることにしました。様子はどうだったでしょうか。また、取組の状況や困ったこと等を共有しましょう。今回は、「音読指導のポイント」＝「音読がうまくなるポイント」をお知らせします。

音読をするときは、「①声の大きさ ②読む速さ ③すらすらと読む」の3つが大事であることを子供たちに指導します。

子供の言葉では、「①大きな声で ②ゆっくりと ③すらすらと」になります。

何度も練習を重ねると、覚えるくらいになり、すらすらと読めるようになってきますが、それと同時に読む速さもつい速くなってしまいます。劇のせりふもどんどん早口になっていきますね。そこで、「上手な音読＝早口言葉ではない」ことを伝え、意識して「ゆっくり」読むようにさせ、聞き手に伝わりやすい読み方が大切であることを指導します。



- ① 大きな声で読む
- ② ゆっくりと読む
- ③ すらすらと読む

子供が一生懸命音読したら、「ゆっくりで聞きやすいよ、次はもうちょっと大きく」「大きい声で◎、次はゆっくりを◎に」「すらすらになってきたよ」など、具体的に評価し、上達するように励ましましょう。

しばらくは、劇のせりふや国語の教科書の詩等を上手に音読できるように、繰り返し練習すればどうでしょうか。劇の練習では、そのうち子供は大体覚えますから、他の子供のせりふを言うてみるのもおもしろいです。もちろん、階段と廊下の「君も学習名人」の詩や文章を、みんなで、グループで、ペアで、一人で暗唱するものよいですね。必要感のある音読の時間になることを目指しましょう。